

No17

【3】

🔍 全体のテーマ

この一節は、保育園(nursery school)の本質的な役割に焦点を当てています。母親の不在を補う代替機関ではなく、母親の果たす発達上の重要な役割を補完・拡張する存在であるという視点から、乳児期における子どもの心の健やかな発達を支える保育のあり方が議論されています。

🔍 全訳

保育園の役割は、母親の不在の代わりになることではなく、幼少期に母親だけが担う役割を補完し、さらに広げることにある。保育園は、小学校の「下位延長」としてではなく、家庭の「上位延長」として捉えるのが最も適切であろう。したがって、保育園および特に教師の役割について詳しく述べる前に、まずは乳児が母親から必要とするもの、およびその早期発達における母親の果たす役割の性質についてまとめておくことが望ましい。保育園がどのようにして母親の役割を引き継ぐことができるのかを真に理解するためには、母親の役割と子どものニーズの観点から考察することが不可欠である。

🔍 第1文

The function of the nursery school is not to be a substitute for an absent mother, but to supplement and extend the role which in the child's earliest years the mother alone plays.

保育園の役割は、母親の不在を補う代替となることではなく、幼少期に母親のみが担ってきた役割を補い、拡張することである。

■ 解説ポイント:

- ✔ not A but B: 対比構文。「AではなくBである」。文の骨格をなす基本構文。
- ✔ a substitute for A: 「Aの代わりとなるもの」
- ✔ supplement and extend: 並列動詞。「補う(補完する)」と「拡張する」
- ✔ 【語源】extend は ex(外へ)+tendere(伸ばす)から。「外に向かって伸ばす」→「拡張する」
- ☑ extend「延ばす、拡張する」(ex[外へ]+ tendere[伸ばす]) ☑ intend「意図する、～するつもりである」(in[内へ]+ tendere[伸ばす]) ☑ attend「出席する、注意を向ける」(ad[～の方へ]+ tendere[伸ばす]) ☑ contend「争う、主張する」(con[共に]+ tendere[競う・張る]) ☑ pretend「ふりをする」(pre[前に]+ tendere[示す・差し出す]) ☑ portend「前兆となる、予示する」(por[前に]+ tendere[差し出す]) ☑ distend「膨張する、ふくらむ」(dis[広がって]+ tendere[伸ばす]) ☑ tension「緊張、張り」(tendere の名詞形 tensio)

[引き伸ばし]) ☑ tendency「傾向、性向」(tendere+ -ency[性質・状態]) ☑ tent「テント」(tentorium:引き伸ばされた覆い → tendere に由来) ☑ tense「緊張した」(tendereの過去分詞形に由来)

☑ which in the child's earliest years the mother alone plays:関係代名詞節。

- which:先行詞は the role.
- 構文:which (関係代名詞・目的格) + M(副詞句)+ S + V
- M:in the child's earliest years(副詞句)

☑ 【語法】alone

- alone は「単独で、～だけが」の意味を持つ副詞。
- この文では the mother alone で「母親だけが」と強調しており、名詞(the mother)の直後に置かれて限定的に用いられている。

🔍 第2文

The nursery school is probably most correctly considered as an extension 'upwards' of the family, rather than an extension 'downwards' of the primary school.

保育園は、小学校の「下位延長」としてよりも、家庭の「上位延長」として考えるのが最も正しいといえるだろう。

■ 解説ポイント:

☑ be considered as A:「A と見なされる」

☑ 【語法】consider

☑ consider A (to be) B:「A を B だと考える」

・We consider her (to be) a genius.「私たちは彼女を天才だと考えている」

※ to be は省略されることが多い。

☑ consider A as B:「A を B と見なす」

・They consider this problem as serious.「彼らはこの問題を深刻だと見なしている」

※ フォーマルではやや避けられることもあり、「consider A B」が好まれる場合あり。

☑ consider Ving:「～することを考える」

・I'm considering moving abroad.「海外移住を考えている」

✗ consider to do は文法的に誤り。不定詞(to + 動詞の原形)は不可。→ 動名詞 Vingのみを目的語として取る。

☑ most correctly:副詞の最上級。ここでは文全体を修飾する文修飾副詞(sentence adverb)として、「最も正確に言えば」の意味。

☑ rather than A:「A ではなく」

- ✓ extension 'upwards' / 'downwards': 比喩的表現。
 - 上位延長: 家庭のケアがより専門的に展開される方向
 - 下位延長: 小学校の制度が年少層に引き下げられる方向
-

[重要] 文修飾副詞

✓【副詞 reasonably の位置による意味の違い】

1. He reasonably said so.

👉 「彼がそう言ったのはもっともなことだった。」

✓ reasonably は 文全体を修飾する副詞 (= 文修飾副詞) として使われています。

「言ったという行為が道理にかなっている / 妥当である」という判断を述べています。

reasonably = It was reasonable that he said so. (彼がそう言ったのは妥当だった)

2. He said so reasonably.

👉 「彼は穏やかな口調で / 理性的にそう言った。」

✓ reasonably は 動詞 say を修飾 (= 動詞修飾副詞) しています。

「どのように言ったか」を説明しており、口調・態度が穏やかだったことを表す。

話し方における「常識的・理性的・穏やかさ」などを含むニュアンス。

🔍 第3文

It seems desirable, therefore, before discussing in any detail the role of the nursery school and of the teacher in particular, to set down a summary of what the infant needs from the mother, and the nature of the role that the mother plays in fostering healthy psychological development in the child's earliest years.

したがって、保育園や特に教師の役割について詳細に論じる前に、乳児が母親から必要とするもの、および母親が乳児期の健全な心理的発達を育むうえで果たす役割の性質をまとめておくことが望ましいように思われる。

■ 解説ポイント:

✓ It seems desirable to V: 形式主語構文。「～するのが望ましいように思われる」

✓ therefore: 接続副詞。「したがって」

✓ before discussing ~: 前置詞 + 動名詞の構文。「～する前に」

✓ discuss (M) O: discuss と目的語 (the role of...) の間に挿入 (in any detail, and of the teacher in particular) がある点に注意。

✓ and the nature of the role that ...: 並列構造。前半は what the infant needs ~、後半は the nature of the role ~。and は名詞句同士を結ぶ。

✔ fostering healthy psychological development: foster は「促進する」、心理的発達 (psychological development) を健全に育む役割。

✔【カンマの解説】

① It seems desirable, therefore, ...

→ カンマの役割: 接続副詞 therefore の前後に置かれ、文の論理的転換 (=したがって) を明示。これは「文中挿入の副詞句 (接続副詞)」の代表的なカンマ使用例。

② ..., before discussing in any detail ...

→ カンマの役割: 長く複雑な副詞句 (before discussing ~) を主要文から一時的に切り離すための読点。意味の切れ目を視覚的にわかりやすくするために使われている。

③ ..., and the nature of the role ...

→ カンマの役割: 長い目的語構造の中で並列する 2 つの名詞句 (summary と nature) を区切る。特に前半に what 節が入り、文構造が複雑なので、視認性を高める効果がある。

🔍 第 4 文

It is only in the light of the mother's role and the child's needs that a real understanding can be gained of the way in which the nursery school can continue the mother's work.

保育園がどのように母親の役割を引き継ぐことができるのかを真に理解するためには、母親の役割と子どものニーズの観点から考えることが不可欠である。

■ 解説ポイント:

✔ It is only ... that ~: 強調構文。文中の特定部分 (only in the light of ...) を強調。

✔ in the light of ~: 「~の観点から」「~を踏まえて」

✔ a real understanding can be gained: 受動態。「真の理解が得られる」

✔ the way in which SV = the way that SV = how SV の関係詞的構文

✔ the ways women are presented: 関係詞節を含む名詞句。the way S V で「S が V する方法・様子」the way S V は単数扱いだが、the ways S V は「複数のやり方・形式」を表し複数形になる。

✔ affect: 他動詞。「影響を及ぼす」

✔ 【語法】: affect は動詞 (直接的な作用)、influence は名詞・動詞両方で、より長期的・間接的な影響。

✔ people's notions on woman's place: on は「~に関する」。notion = 考え、概念。

✔ as it is = 「あるがままの姿で」/ as it ought to be = 「あるべき姿で」。形式主語 it は woman's place を指す。

✔ ought to be: 道徳的・義務的な意味合いでの「~であるべき」